理研会報
発行　理科研究部
印刷　理科研究部
事務局　成田市立成田小学校内

郡理科作品展を終えて

評講

工作の部

間野京　福田　健

今年度、郡展に寄せられた工夫工作は、小中あわせて93点で、その内、小学校16点、中学校4点が入賞となり県展に進んだ。また、これとは別に、準入選が小学校のみ5点認められた。

次に、審査を担当して気付いた事等を述べてみたい。

(一)以前に比べ、構造的にしっかりとした作品が多く、審査の前に既に動かないような作品は少なくなった。より傾向である。しかし、電気的な工作は依然として接触不良等のトラブルが多く、この面の改善は課題である。

(二)小学校の作品では、風、ゴム、磁石、モーター等の力を利用した動くおもちゃのようなものが多く既に発表されている類似の作品の域を出られない傾向があった。そして、工作のための工作にとどまっている作品が多いように感じた。目的意識の感じられる、製作者の意図が直接伝わってくるような作品を期待したい。小学校理科の学習に直接結び付き過ぎていることもそうさせている理由の一つかも知れない。

(三)中学校の作品には、小学校とは対象的に、身近な身の回りの生活にヒントを得て、不便さを解消するような、目的の明確なユニークな作品がみられた。

(四)郡賞の自作郡賞の部には、今年も出品数が極めて少なかった。いくつかの学校では、自校で考案作製した郡賞を実際授業で使用している例もあるので、この面の発掘は、研究部会員の努力にかかっているように思えてならない。

論文の部

四郡　安井　宙蔵

論文の部の作品として各部会より郡展に持ち寄られた点数は、130点、その中から県展出品作品として、12点を郡入賞作品と決定しました。

小学校の作品を見ると入賞したものは、継続研究二年目・三年目という年次研究が大勢を占め、研究の積み重ね、努力の足跡が伺える作品でした。しかし、全体的傾向は、例年に比べ残念ながら優秀作品が減少したことです。発想はともかく、資料不足、結論に達しない息切れ作品がみられました。児童の継続的努力と併せて、児童の意欲をかきたてる指導者の姿勢も課題の一つとして指摘されるかもしれません。

中学校の作品では、小学校と同様に継続研究に力作といえるよい作品がみられました。個人研究よりもグループ研究の方が中学生向きなのか、個人作品よりもより優れた作品がみられました。新たな傾向として学級単位の研究・取りくみがありました。研究の質が向上するにつれ、また資料などの集取の関係をも含めて個人研究には限界があることを示唆するものか、今後の動向を見つめたいと思います。

おわりに作品の完成にあたり、お願いを記します。

(1) 技巧をしっかりする。
(2) 使用する用紙の検討。
(3) 学年・内容相応の文字の大きさ。
(4) 誤字をなくす。
(5) 研究動機から結論まで達する。
(6) データを十分に備える。
(正確なスケッチ等を含めて)

標本の部

四・南小　芒川木　昭夫

標本の部の審査では、出品作品75点の中から金賞13点を選出いたしました。審査をおえて感じてことを述べてみたいと思います。

小学校の部では、短期間の採集ではなく、年間を通して、又、二年がかりで採集し標本にまとめあげた作品が多くみられるようになりました。また、観点をしぼり標本にまとめている傾向がみられました。大変熱心に採集してあるが根まで大切にとり、標本にしてある作品がやや少なかったのは残念です。来年度以降の出品に際しては気をつけてほしいものです。また、セロテープで止めることについても工夫してほしいものです。

昆虫標本は、数多く採集してある作品が多かったが、低学年としての標本のあり方、高学年としての標本のあり方にやや疑問を感じる作品がありました。かなり、親の手の加わっていると思われるものです。また、採集地にはみられないと思われる昆虫もあり、今後の課題ともいえると思います。

中学校の部では、作品が非常に少なく残念でした。今後に期待したいものです。

植物標本では、長期にわたった作品がみられました。また、新しい観点で採集地形と植物をくみあわせ、土地の様子とそこの植物との関連がひと目でわかるようにまとめてありました。

昆虫標本では、もっとていねいに作成する必要があると思います。

郡理科作品展審査結果

1. 出品点数　299点
2. 入賞点数　55点
3. 入賞者名及び作品名

《工作の部》

学年	氏名	作品名	学校名	備考
1	加藤真理子	ゆかいな友達	臼井小	
1	森田　直樹	メリーゴーランド	富里小	
2	西村　真吾	ぱたぱた島	富里南小	
2	田村　悦子	風とゴムの力で動くおもちゃ	向台小	
2	秋葉　剛史	ロケットかんらんしゃ	成田小	
2	松村　明博	風にうたうすずめ	南山小	郡
3	布施　貴章	宇宙ステーション	八街東小	
3	重原　勇介	人が動く車	上志津小	
3	佐藤　郁美	空とぶUFO	富里小	
3	田中　友香	まりつき	日吉台小	
4	鈴木　友治	自動かい中電灯	櫻賀台小	
4	堀　尚史	ひまわりと太陽	みそら小	
4	今井　郁	自動えさやり機	王子台小	
4	深澤　隆	動く虫	永治小	
4	藤村　隆史	坂をのぼるピエロ	内野小	郡
5	田中　唯	夏の星座	川上小	
5	内田　奈緒	肺活量測定器	実住小	郡
6	日暮　浩平	おどるよう怪	成田小	
6	石原　理奈	コーヒーカップ	成田小	
6	有田　真吾	モノレール	四・中央	郡
6	松永　拓也	おみこし	酒々井小	郡
一	秋山　順子	コーナーのりづけ器	旭中	
1	富田誠他2名	演示用簡易プラネタリウム	佐倉中	
2	菅藤　英行	らくらく鉛筆削り	千代田中	
3	豊島　真	ワンタッチマジックフタ取り	旭中	

《論文の部》

1	山口　洋之	あさがおの観察	富里一小	
1	拝田　晃	かたつむりのかんさつ	八木原小	郡
2	井上　裕介	あさがおのつるのかんさつ	成田小	

《標本の部》

1	佐藤　隆介	こうちゅうとせみ	大山口小	
2	須藤　勝則	くだものとやさいのたね	船穂小	
3	平山　洋介	野山の植物	佐倉小	
4	須藤美奈子	貝あつめ	船穂小	
4	堀川　紘美	水辺の植物さい集	八木原小	
4	富澤　美紀	印旛沼周辺の植物	佐倉小	
4	薄田　直人	道ばたのざっ草	酒直小	
5	佐藤　洋平	蝶の標本	大山口小	
6	鈴木　亮次	クモの観察	布鎌東小	
中	芳野あかり	佐倉に生きる植物	佐倉中	
3	國分　綾乃	植物標本	千代田中	
3	土屋　清美	頭草標本	千代田中	
3	大野美佐子	3つの葉から	印西中	
3	石井　克典	へちまのかんさつ	二州小	
3	蓮見　明子	まきひげの強さ	実住小	
3	鳥生　新	かいわれ大根の観察	加良部小	郡
4	井上　隆博	身近なざっ草の研究	成田小	
5	松澤千佳子	植物葉の水のすい上げ	みそら小	
6	土井　勝之	クモの研究	本埜一小	
6	石渡　貴志	温度調べ	井野小	郡
6	武田江利花	植物のくだと水よう液	向台小	
中	佐藤香織他2名	印旛沼の研究	栄中	
2	賀沢秀人他2名	波動現象	佐倉中	
2	鈴木　克明	翼の形状による飛行距離及び安定性を調べる研究	佐倉中	
3	倉田陸広	水質汚染と生物	臼井中	
3	佐野　千代	光の色と植物の育ち方	南山中	郡
3	戸井恵美子	大根おろしの研究	千代田中	郡

※標本は、県展に出品いたしません。
※備考欄に「郡」とある作品は、県展に出品いたしません。